

## 表彰式

2016年10月22日、立命館大学衣笠キャンパス創思館カンファレンスルームにて表彰式を開催しました。入賞者には、表彰状ならびに各協賛・後援企業、団体から副賞(最優秀賞:iPad・防災グッズ、優秀賞:防水機能付デジタルカメラ・防災グッズ、入選:地球儀・防災リュックサック、佳作:地図帳・防災ポーチなど)および参加賞(文具セットや飲料水など)が贈呈されました。表彰式後、歴史都市防災研究所にて、審査委員による講評と入賞者による作品紹介を行いました。ご家族にもご参加いただき、和やかな雰囲気の中で行われました。



表彰式 最優秀賞授与



歴史都市防災研究所でのテーブルカット



入賞者による作品紹介

## 応募者の声

危険や安全な場所の再確認、家族内で安全、安心について話し合うきっかけ、普段見落としていた場所の気づきに役立ったなどの意見をいただきました。

- 避難ルートや場所だけでなく、安全である場所を再確認できる。
- 災害等が起きた場合の家族の集合場所の再確認や防災について、話し合う機会ができた。
- 子ども自らが考えることで、安全への意識が自然と高まる。
- 危険な場所や気をつけるところなどを明確にすることで、一人一人が安全に通学することができる。
- 歩いてみて、ふだん見ていないところが見れてよかった。

## 出張授業

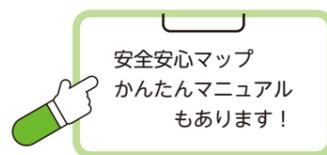
「どうやって安全安心マップを作成したらいいの?」という声に答え、歴史都市防災研究所の教員や研究員が中心となって、小学校等に出向き、防災・防犯に関する出張授業を実施しています。今年、7月14日、当研究所の谷端研究員が、京都市立洛中小学校の3年生26名に対して、約45分間の出張授業を実施しました。

また、当研究所の研究員(石田研究員、崔研究員、谷端研究員)が、京都府山城地域の市町村において、「地域の防災マップ」の作成に取り組んでいる一般社団法人山城青年会議所に対してマップ作成に関する説明・意見交換会(6月25日)を行い、笠置町(7月21日)と精華町(7月29日)にて実施されたフィールドワークに同行・助言するとともに、8月11日に開催された成果発表会では、作品の講評を行いました。



意見交換会

お気軽にご相談・お問い合わせください。



立命館大学 歴史都市防災研究所 事務局  
〒603-8341 京都市北区小松原北町58番地  
TEL: 075-467-8801 / FAX: 075-467-8825  
E-mailアドレス: rekibou@st.ritsumei.ac.jp  
コンテスト特集ページ: <http://www.r-dmuch.jp/jp/project/mapcontest/index.html>  
開館日/月~金 9時30分~17時00分 [土・日・祝および休館日除く]

2016年

第10回 夏休みにみんなで作る

# 地域の安全安心 マップコンテスト 事業報告



立命館大学歴史都市防災研究所では、小学生を対象として地域の安全安心への関心を深めてもらうことを目的に、2007年から「地域の安全安心マップコンテスト」を毎年開催しております。この事業は、小学生、保護者、ご家族、地域住民、教員など子供と大人が一緒になって地域を調べ、マップを作成しながら皆さんで地域の安全安心を考えてもらえるよう、大学の社会貢献活動の一環として取り組んでおります。今年も多くの方に支えられ、節目の第10回を迎えることができました。この場を借りて心より御礼申し上げます。なお、本紙において第10回の事業内容をご報告させていただきます。皆様の日頃のご活動や今後のマップ作りの一助となれば幸いです。

## 第10回「夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」概要

2016年8月22日から9月30日までの募集期間に、全国から72点(個人42点、グループ30点)の応募があり、総勢169名の小学生に参加していただきました。前回より25点、47名の増加、また、茨城県、群馬県、福井県、福岡県などから新たな応募もあり、応募地域も拡大しております。どれも大変魅力的な作品で審査にはかなりの時間を要しましたが、8名の審査委員による厳正なる審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞1点、入選3点、佳作5点の入賞作品10点が選出されました。また今年も、入賞作品のうち7作品を国土交通省国土地理院主催の「全国児童生徒地図優秀作品展」へ推薦し、最優秀賞の作品は奨励賞を受賞しました。

主 催: 立命館大学歴史都市防災研究所  
協 賛: 株式会社パスコ、日本ミクニヤ株式会社、Fレンタリース株式会社、株式会社帝国書院、第一通商株式会社、株式会社ネスト・ジャパン、NPO法人災害ボランティアステーション日本、マツモト産業株式会社、株式会社宝水、セコム株式会社(順不同)  
後 援: 国土地理院、コクヨマーケティング株式会社、京都新聞、KBS京都、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、一般社団法人人文地理学会、立命館地理学会、NPO災害から文化財を守る会、京都府警察(順不同)

校区安全マップ



**応募者のコメント**  
校区の危険箇所を自分自身で確認し、それを広めることでみんなが安全に生活できるように考え作成しました。みんなが覚えやすいように学校の「くらはしだいに」を合い言葉にした標語を作ったり、子ども110番のいえを一軒一軒確認したり、使いやすい安全マップを目指して作りました。取材中、たくさんの人に励ましの声をかけて頂き、地域のみなさんに守られていることを実感し、校区の良さを実感することができました。

**寸評**  
広範囲にわたって道路標識や子ども110番の家などの安全安心に関わる情報が細かく調査されている。画面構成に優れ、写真に矢印を入れてリストを示すなど、分かりやすく表現されている。膨大な情報量を多様な表現方法を駆使してまとめ、見ていて楽しい作品に仕上げられている。

国土交通省国土地理院主催  
「第20回全国児童生徒地図優秀作品展」奨励賞を受賞しました。

西陣中央安心安全マップ



**応募者のコメント**  
わたしがマップを作ったきっかけは、西陣のまちのことをもっとよく知ることができたからです。マップの中で、安全・注意・キケンポイントを青・黄・赤のシールで貼り分けて、調べていくうちに、みんながキケンと思う場所には、見守り隊がいたり、標識があったり、安全のための工夫がたくさんあるけれど、わたしが気付いた場所の中には、安全の工夫が少ない所もあったので、自分で注意して身を守ることも大切だとわかりました。

**寸評**  
安全安心箇所、注意箇所、危険箇所という3つの項目を設定し、それらを色分けして表現するなど、分かりやすくとまとめている。また、3つの項目のポイントを列挙するなど、安全安心の意味を探索する姿勢が認められて良い。

交通安全MAP-御園橋-



**応募者のコメント**  
御園橋の交通状況について調べまとめました。その中で自転車の利用が交通状況を悪くさせていることがわかりました。これからの自転車の利用をどのように考えていけばよいか注意深く見守っていく必要があると僕は思います。

**寸評**  
新聞記事あるいは研究発表のような完成度の高い作品。地図をもう少し大きく示すとよい。

安全マップ-石積みの町坂本-



**応募者のコメント**  
この作品は、3年生の地域学習を発展させて、児童会が中心となって作成したマップである。まず、4年生から6年生にアンケートを実施し、学区の危険箇所を決めた。その後、児童会メンバーと先生とでその場に出向き、危険度や改善の必要が高い場所を優先して、マップに書き込んだ。見やすさも大事だと思い、写真やイラスト、地域のマスコットキャラクター吉鳥(よしちょう)なども書き入れた。

**寸評**  
構成がきれい。ハザードマップであるとともに、「石積みの町」という町のPRにもなっている点が良い。

グラグラマップ-地震にそなえる安全安心マップ-



**応募者のコメント**  
今年3月、熊本で大地震が起きました。ぼくは、ぼくの住んでいる京都にも多くの活断層があることを知って、こわくなりました。僕の町で大地震が起こったら、どのような場所が危険なのか、また安全に避難出来る場所はどこなのかを調べ、このマップにまとめました。このマップを見た人が、地震に対して備えたり、家族や地域で話し合うきっかけになったらいいと思います。

**寸評**  
地震の仕組みを理解した上で対処法がまとめられており、学習の成果が活かされている点が評価できる。

地域安全マップ



**応募者のコメント**  
夏休みという時間に余裕がある期間を利用し、普段生活している北本市立中丸小学校区を実際に歩いてみて細かな箇所を調べ、地域安全マップを作成しました。その結果、交通事故や事件に巻き込まれないためには、常に周りを意識することが最も大切なことだと思いました。このマップを通じて危険を回避する力が高められ、地域の方々とのネットワークを強めていくという考えが、共有できたら良いな、と思いました。

**寸評**  
ロゴやアイコンが巧みで、見やすくて分かりやすい。

じしん、大雨、ふしんしゃなどのにげみちマップ



**応募者のコメント**  
通学で地震等の場合、具体的にどこへ逃げればよいか分からなかったため、このことが一目で分かるよう、マップを作成しました。現地へ行って、現在地毎に、どここの場所へどのルートで逃げるのが安全かつ一番近いかを調査し、また、逃げ場所への途中でも子供110番の家等で解決するなら、逃げ場所まで行く必要がないことが分かりました。マップ作成では、逃げ場所への4ルートの色別等にして、必要な情報が目立つようにしました。

**寸評**  
どの地点ならどこに逃げればよいか色分けされており、「どう逃げるか」という明確なテーマのもと、分かりやすく示されている。

府中町の安心安全マップ 水のゆくえ



**応募者のコメント**  
2年前広島市で起きた土砂災害をきっかけに、「私の町は大丈夫かな」という思いでこの安全マップを書きました。私の町は海拔が近く、皆川のはんらんで多くの人が亡くなりましたが、今は町の川には沢山のパイプがあり、川の水が増えると違うところに流れてくれます。私が伝えたかったことは、広島の人が協力してこの一つの町に暮らす人の命を一生懸命に守っているということで、次は広島県、日本中が安全になることを願っています。

**寸評**  
排水のしくみや設備の能力がしっかりと説明されており、水の安全(内水災害対策)について丁寧に考察されている。

安全を見守るカメラ



**応募者のコメント**  
学校の帰り道に防犯カメラを見つけた。よく見るとあちこちにもこっちにもある。何個あるのかなあと思って、数えながら帰りました。夏休みに、校区の防犯カメラを数えるために、自転車で校区を何日かけて回りました。なんと100個以上もありました。地図に表してみるとそのほとんどが通学路にあることが分かりました。市役所に行って地図を見てもらうと、なんと防犯カメラの中を見させてくれました。防犯カメラは、犯罪を防ぐ力があるそうです。こうやって24時間、私たちの安全を見守ってくれています。

**寸評**  
防犯カメラへの着目ユニーク。地図のクオリティを上げるとなお良い。

わたしのすむまち南福西町あんぜんMAP



**応募者のコメント**  
私の街は、竹林や川に囲まれたきれいで便利な街です。でも最近では、若い人や子供がへり、お年よりの増えたので、今まで安全だと思っていたことが安全ではなくなりました。そこで、子供たちとお年よりの安心して住めるようMAPを作成しました。(中略)私は地図を作る前に、自治会長や役員に報告しました。危ない場所やお勧めの場所は写真撮影し、色分けしたメッセージカードといっしょに、地図上に立体的に貼り付けました。(中略)MAPは完成しましたが、街の安全は未完成です。今回調べたことを、街のみんなと共有し、もっとすてきな街になるようにしたいと思っています。

**寸評**  
広域地図でありながら、写真の裏面には個別の注意点も書かれていて、複合的な視点が良い。

\*応募者のコメントは、『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋

\*応募者のコメントは、『第20回全国児童生徒地図優秀作品展作品集』より抜粋(「グラグラマップ」、「安全を見守るカメラ」、「わたしのすむまち南福西町あんぜんMAP」を除く)